



平成29年4月28日

各位

上場会社名 株式会社ユーラシア旅行社
 代表者 代表取締役社長 井上 利男
 (コード番号 9376)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 出口 桂太郎
 (TEL 03-3265-1691)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年11月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,460	12	12	7	1.90
今回修正予想(B)	2,319	0	88	78	21.14
増減額(B-A)	△140	△11	76	71	
増減率(%)	△5.7	△91.7	633.3	1,014.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年9月期第2四半期)	2,514	△1	1	△4	△1.09

平成29年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,210	85	95	61	16.53
今回修正予想(B)	5,210	74	171	132	35.77
増減額(B-A)	—	△11	76	71	
増減率(%)	—	△12.9	80.0	116.4	
(ご参考)前期実績 (平成28年9月期)	4,988	65	51	△42	△11.46

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想

1. 営業収益

当社では、前期(平成28年9月期)において、平成27年11月パリ同時多発テロ事件、平成28年3月ベルギーテロ事件の影響を受け、ISIL(いわゆる「イスラム国」)の活動が想起される地域について需要減少の影響を受けました。

この影響については、国連を中心とする世界各国の連携により徐々に沈静化及び局地化していく見通しを立てていますが、その回復は、顧客心理の変化を必要とするものであり、当期上半期においては前年同期比97.8%、当期通期においては前年同期比104.4%となる営業収益予想を立てておりました。

現在のところおおむね通期収益予想を維持していますが、当期上半期は92.2%の営業収益となり、前年同期以上の回復については、下期第3連結会計期間よりとなる見通しであります。

これによって第2四半期累計期間の営業収益予想値は2,319百万円に修正し、期初予想比では5.7%の未達が想定される状況となりました。

2. 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

営業収益の目標未達を受けて、営業利益の未達が想定されることとなりました。引き続き経費縮減に努め、営業利益において11百万円の未達が想定されますが、有価証券売却益の発生により、経常利益については、76百万円の超過となり、これに伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益についても71百万円の超過が想定される状況となりました。

(2) 通期の業績予想

1. 営業収益

(1)の理由に示したように通期営業収益についてはおおむねこれを維持できるものと想定しており、これを変更いたしません。

2. 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

各段階利益については、上半期において発生した事象を踏まえ、上半期において発生した有価証券売却益等を加味し、上半期に発生した差異金額を加減算して通期業績予想といたします。

以 上